

繊維系廃材を用いた KYOTO UPCYCLE BRAND のブランディングと商品開発

京都光華女子大学 坂本遼香 矢崎葵織（キャリア形成学部3年） 宮原佑貴子（キャリア形成学部 講師）

事業の背景と目的

西陣織、京友禅、京菓子、京野菜、京漬物、京焼、京扇子、竹細工・・・

千年もの長きに渡り都として栄えたこのまちには、暮らしや文化に培われた数々の特産品があり、京都ブランドは昔も今も人々の憧れです。一方、京都ブランドの品々にも製造過程や流通においてロスが発生します。そこで、廃棄予定となる京野菜や竹などを有効活用し、繊維質部分を抽出し、紙漉きの技術でシートを作成。若者が「欲しい」「使いたい」と思うアイテムを企画し、特産品のPRと産業への関心拡大を図りたいと考えました。「京都の特産品をもっと身近に！」そんな思いから、「京都を身に纏う」をテーマとして服飾雑貨を制作し、すてるもんはありまへんえ～！と言える、アップサイクルブランドのブランディングと商品を目指しています。

事業の内容

【繊維系廃材を使用したシートの作成】

京都工芸繊維大学木村照夫名誉教授および三晶株式会社様より技術指導のご協力をいただき、抄紙技術を用いたシート作成をおこないました。



【製品プロトタイプの実験と展示】

「京都」と「To wear(身に纏う)」を組み合わせた造語を用いたロゴマークを作成。京野菜、京漬物を原料とするシートを用いて、スリッパ、ポーチなどの製品プロトタイプを作成し、「私たちのSDGs2024」(9月12日-13日@京都文化博物館)、「0colour展2025」(2月22日-24日@FLAME in VOX)で展示をおこない、反応調査をおこないました。



【ワークショップの実施】

「京ベジフェスタ 2024」(11月16日@梅小路公園 主催: JA 京都市)において、京野菜、京漬物を原料とするシートを用いて、「京野菜シートを使ったカードケース作りワークショップ」を実施し、多くの地域の方に素材を触って楽しんでいただくことができました。



【繊維リサイクル技術研究会での発表】

「日本繊維機械学会繊維リサイクル技術研究会第156回情報交換会」(12月3日@CONCEPT STORE 木更津)において、これまでの活動と成果を発表し、リサイクルに関する様々な知見からご意見・アドバイスをいただきました。



【今後の展望】

京野菜、京漬物の繊維から生まれたシートという素材のストーリーを活かし、リサイクルの観点から「長く使える」、そしてファッションとして「生活を彩り豊かにする」循環型の製品作りを目指し、専門家、研究者、企業などの協力を得ながら、引き続き製品開発を進め、一般市場への道筋を作っていきたいと考えています。



【活動とたくさんの出会い】本活動において、素材提供、ご指導、アドバイス等、たくさんのご協力いただきました。心より御礼申し上げます。



学内でのシート作成

学内で栽培された野菜での試作

京つけもの もりにて(素材原料ご提供)

三晶株式会社中央研究所にて

しんやさい京都 農園にて(素材原料ご提供)